

# 京都府地域創生戦略

## 2年目(平成28年度)の事業効果検証

平成29年8月17日 京都府地域創生推進会議  
(於：京都ガーデンパレス)



京 都 府

1

### 本日の議事 (目次)

(事務局説明)

- ① 125本のKPI(重要業績評価指標)の全体達成状況について
- ② 平成28年度の主な事業の効果検証について
- ③ 平成29年度の主な事業について

(意見交換、総括)

2

# KPIの全体達成状況

3

## 5年間のKPIのうち「単年度」の達成状況はどうか

基本目標		単年度達成率（単純平均）	
		平成27年度	平成28年度
1	京都の未来を拓く人をつくる	39KPI = 103.6%	39KPI = 95.2%
2	地域経済を活性化させ、仕事をつくる	42KPI = 127.5%	42KPI = 154.0%
3	京都への人の流れをつくる	26KPI = 114.4%	34KPI = 110.1%
4	持続可能で魅力と活力のある地域をつくる	10KPI = 103.7%	10KPI = 99.3%
合計（単純平均）		117KPI = 112.3%	125KPI = 114.7%

### 【検証結果】

- ▶ 昨年の数値目標の上方修正なども行ったため、平成27年度を下回る項目もあるが、全ての基本目標で9割を超え、また合計（単純平均）では昨年を上回る状況
- ▶ 従って、総合的な達成状況は「良好」と言える

4

## KPIはこの「2年間」でどこまで達成したのか

基本目標		5年間の最終目標に対する達成率（単純平均）
		平成28年度（平成27年度）
1	京都の未来を拓く人をつくる	5年後の目標に対して2年間で = 64.6%
2	地域経済を活性化させ、仕事をつくる	5年後の目標に対して2年間で = 87.5%
3	京都への人の流れをつくる	5年後の目標に対して2年間で = 67.8%
4	持続可能で魅力と活力のある地域をつくる	5年後の目標に対して2年間で = 70.1%
4項目単純平均		5年後の目標に対して2年間で = 72.5%

### 【検証結果】

- ▶ 単純に5年間のうち2年の達成としては40%がメルクマールとなる
- ▶ 全ての基本目標で6割を超えており、合計では72.5%（前年60.7%）まで達成している状況
- ▶ 従って、総合的な達成状況は「良好」と言える

5

## 平成28年度に実施した 主な施策の事業効果検証

# 提案型の国交付金で高評価、確実に獲得しています

市町村と連携した事業の提案が高評価、獲得額は全国トップクラス

## ■ 地方創生推進交付金を獲得（ソフト事業に対する1/2の交付金）

・ 国予算1,000億円に対し、以下の交付金を獲得

⑳ 11.3億円（全国1位）

㉑ 13.7億円（全国1位）

・ 観光・文化、産業振興、移住対策、府民総活躍などを市町村と広域連携で展開中

## ■ 地方創生拠点整備交付金を獲得（ハード事業に対する1/2の交付金）

・ 国予算900億円に対し、以下の交付金を獲得

⑳ 9.2億円（全国5位）

㉑ 1.6億円（全国4位）

・ 北部産業創造支援センター（綾部市）や「高齢者共生型まちづくり」施設（京都市）を整備中

7

# 地方創生の主要テーマ「東京一極集中是正」はどうか

文化庁の京都への全面的移転が決定しました！

## 文化庁先行移転（平成29年4月）

- ▶ 文化庁地域文化創生本部が設置
- ▶ 文化による地方創生が京都から全国へ展開
- ▶ 暮らしの文化や観光との連携など、新たな政策ニーズに対応した事務事業を先行的に実施



## 文化庁移転先の決定（平成29年7月）

- ▶ 改正文化芸術基本法を踏まえ、観光、まちづくり、国際交流、産業等を同法の範囲に取り込み、文化芸術立国を目指した文化行政を行う
- ▶ 移転先が京都府警本部本館に決定
- ▶ 長官及び次長をはじめ、全体の7割・250人以上が移転
- ▶ 遅くとも33年度中の本格移転

## 効果検証

- ▶ KPIの設定はありませんが、オールジャパンで見ても地方創生のフラッグシップと言える成果です

8

# 地域創生の実現に向けた「人づくり」はどうか

地元雇用に向けた人材育成、大学生の地域への誘導に注力しました

食関連産業で人材育成を推進しました

(丹後王国「食のみやこ」開園後の入園者が100万人を突破)

- ▶ 丹後地域の食文化を活かした「10次産業化拠点」としてリニューアル(27年4月)  
魅力を高める施設整備の実施や食人材の育成により農業ビジネスを推進

新しいスタイルの大学生と高齢者による交流を推進しました

(次世代下宿「京都ソリデール」事業を開始)

- ▶ 自宅の空き室を、大学生等へ低廉な家賃で提供することで、高齢者との同居・交流を図り、大学生等の定住を促進

大学生が地域に入り込んで交流する仕組みを推進しました

(1(ひと)まち1(ひと)キャンパス事業を開始)

- ▶ 大学と市町村が連携し、当該市町村をフィールドとして取り組む大学等の授業や研究活動等のプロジェクトを支援(16大学、13市町)

効果検証(主なもの)

- ▶ 住宅マッチングシステム(京都ソリデール事業)が開始(284戸) (KPIは30戸(31年度))
- ▶ 地域活動等に参画する学生数が大幅増加(251,374人→286,039人) (KPIは6,000人(31年度))

# 少子化対策(こども総合対策)はどうか

妊娠・出産から子育てまで切れ目ない支援を実施しました

全国トップクラスの子育て・教育環境を実施

子育て医療費助成

(約19億円)

第3子以降保育料無料化

(約6億円)

私立高等学校あんしん就学支援

府立高校生等就学支援

(約100億円)

子育て世帯の経済的負担を軽減

子育て応援の融資制度による支援

全国初!

(10億円)

- ▶ 低利融資制度(京の子育て応援融資; Tomorrow-loan)による子育て世帯の経済的負担を軽減

Tomorrow-loan  
トゥモローン

きょうと子育てピアサポートセンター(平成28年8月開設)による支援

- ▶ 市町村の「子育て世代包括支援センター」の立ち上げ支援
- ▶ 妊娠・出産セーフティコールの開設

20市町村設置

効果検証(主なもの)

※金額は決算額ベース  
(以下同様)

- ▶ 京都府子育て支援団体認証制度を創設(2811団体を認定) (KPIは31年度末で20団体)
- ▶ 結婚や人生設計を考えるライフデザインセミナーを39回開催(2728) (KPIは5年間で90回)
- ▶ 産後ケア専門員による支援者数が2,211人(27969人281,242人) (KPIは27~31年度で5,400人) 10

# 共生社会の実現に向けた取組はどうか

府民全員が参加する共生社会の実現を目指した取組を実施しました

## 「女性の輝き」を支援 (約8億円)

### 女性活躍支援拠点「京都ウィメンズベース」を開設(平成28年8月)

労働局、府、京都市、経済団体が一体となって女性の活躍を支援

- ▶ 企業に対する女性の活躍促進のための事業主行動計画の策定支援



300人以下の企業  
全社の訪問等完了

## 「障害者の輝き」を支援 (約15億円)

### サン・アビリティーズ城陽ナショナルトレセンに指定(平成28年7月)

- ▶ パラ・パワーリフティングのトップアスリートの支援を強化するほか、  
障害者スポーツの裾野拡大と府民理解促進に向けた取組を実施



#### 効果検証 (主なもの)

- ▶ 企業における女性リーダー育成研修受講者が542名 (27)(28) (KPIは5年間で1,000人)
- ▶ スポーツ、文化、芸術、レクリエーション活動への障害のある人の延べ参画者数が11,999名 (KPIは16,000人(31年度))

11

# 地域経済の活性化に向けた取組はどうか

地域経済活性化に向けて、中小企業などへのきめ細やかな支援をしました

## 中小企業への伴走支援を実施

### 「企業の森」による支援

- ▶ 中小企業のグループ化から設備投資・販路開拓まで一貫支援

### 「中小企業融資」による支援

- ▶ 中小企業融資による下支えにより、開業・経営承継に寄与  
開業・経営承継支援金融融資件数 121件 (対26) 233%

### 「中小企業応援隊」による支援

- ▶ 中小企業応援隊による伴走支援により、倒産件数が減少  
22) 478件 ↓ 28) 227件 (22)対比 △52.5%

39グループを形成

## けいはんな学研都市の発展を推進

- ▶ 京都大学大学院農学研究科附属農場などが新たに立地  
立地施設数 19) 106施設 ↑ 28) 133施設 (19)対比 125.5%

#### 効果検証 (主なもの)

- ▶ 中小企業応援隊の延べ訪問件数 (28)55,190件 (KPIは55,000件(31年度))
- ▶ 事業継続・創生センターによるサポート件数 (28)953件 (KPIは520件(31年度))
- ▶ 府事業による起業支援件数 (27)(28)759件 (KPIは800件(27~31年度))
- ▶ けいはんな学研都市に立地する文化学術研究機関等は78機関 (KPIは83機関(31年度末))

12

# 「京都力」の発揮に向けた文化振興の取組はどうか

京都力の発揮に向けて、文化首都・京都の実現に向け取組をしました

## 「京都文化カプロジェクト2016-2020」がスタート

約3,500人参加

- ▶ 2020に向けた政府主催のキックオフイベント  
「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」を開催(平成28年10月)
- ▶ 文化による国づくりに一丸となって取り組むことを宣言(京都宣言)



## 京都学・歴彩館がグランドオープン(平成29年4月)

京都文化の新たな交流・発信拠点の完成

- ▶ 京都関係資料などを収集・保存・公開
- ▶ 府立大学と連携し京都学を研究・発信



## 効果検証(主なもの)

- ▶ 京都文化を国内外に発信する文化イベント開催(㉗2件、㉘1件) (KPIは5件(27~31年度))
- ▶ 学校又は文化会館等における次世代文化体験事業(㉗㉘162件) (KPIは300件(27~31年度))

13

# 「京都力」の発揮に向けた基盤整備はどうか

インフラ基盤整備による京都府大交流を促進しました

## 京丹後市から木津川市までの高速道路軸が完成

- ▶ 山陰近畿自動車道(野田川大宮道路)  
【平成28年10月開通】
- ▶ 新名神高速道路(城陽JCT・IC~八幡京田辺JCT・IC)  
【平成29年4月開通】

府域の高速道路の約86%が完成



## 京都舞鶴港の充実

- ▶ コンテナ取り扱い量 ㉗ 8,620TEU ↗ ㉘ 11,493 TEU
- ▶ クルーズ船寄港回数 ㉗ 8回 ↗ ㉘ 17回 ↗ ㉙ 約40回予定

過去最高



コスタ ネオロマンチカ  
乗客定員: 1,572人  
乗組員数: 622人  
総トン数: 56,769トン

## 効果検証(主なもの)

- ▶ 名神高速道路(大山崎JCT)から北部(京丹後大宮IC)への移動にかかる所要時間が90分に (KPIは90分(31年度))
- ▶ 貿易取扱量は7年連続で1,000万トン超(㉘1,083万トン) (KPIは1,300万トン(31年))

14

# 「京都力」の発揮に向けた観光振興はどうか

地域の魅力発信に向けて、観光地域づくりを推進しています

## 観光地域づくりの総合プロデューサー「海・森・お茶の京都DMOを設立」

▶ DMOを核とし「和の文化の源流」

海の京都

森の京都

お茶の京都

「森の生活文化体験」「宇治茶ブランドの確立」



など地域の魅力を活かした地域づくりを展開

## 「森の京都博」を開催

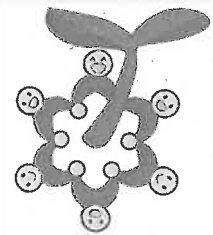
参加者 約145万人

▶ 皇太子殿下をお迎えし第40回全国育樹祭を開催

▶ 府中部6市町において、交流型イベントを1年中開催

・キッズダンスフェスティバル(平成28年7月～8月)

・テイクオフイベント ～森の京都春の祭典～ (平成29年3月)



## 効果検証 (主なもの)

▶ 観光入込客数は8,741万人と高水準で推移

(KPIは10,000万人(31年))

▶ 外国人宿泊客数は326万人と過去最高を更新

(KPIは426万人(31年))

▶ 観光消費額も11,447億円と過去最高を更新

(KPIは11,653億円(31年))

# 平成29年度展開中の 重点事業について



## 平成29年度は「共生社会実現」を焦点に展開中

平成28年度は全国トップクラスの子育て・教育環境の整備や、地域経済活性化に向けた支援により大きな成果を得るとともに、特に、京都縦貫自動車の全線開通もあり、森の京都のターゲットイヤーもあって、広域観光振興を中心に大きな成果を得られた。

今後、さらに地域創生を深化させていくためには、そうした成果を一過性に終わらせることなく、全ての府民生活が豊かになるよう大きく波及させていくことが重要。

一方で、平成29年度の当初予算は、これまで築き上げてきた基盤の上に、府民一人ひとりが互いに支え合う中で希望が実現できる「共生社会」を焦点に16の重点事業を編成したところ。

3年目という中間点を迎える本府の地域創生のステップアップに向けた大きな流れを的確に捉えた事業展開に注力しています。

17

## 「共生社会」の実現に向けた「16の重点事業」

①	きょうとこどもの城づくり事業	⑨	伝統産業復活事業
②	脱ひきこもり支援事業	⑩	京都観光適正化推進事業
③	障害者共生推進事業	⑪	京の食ビジネス改革事業
④	女性活躍障壁打破事業	⑫	スマート温暖化対策事業
⑤	高齢者安心社会実現事業	⑬	文化財保護緊急強化事業
⑥	あんしん医療強化事業	⑭	「お茶の京都」事業
⑦	就労・奨学金返済一体型支援事業	⑮	京都移住促進プロジェクト事業
⑧	中小企業共同型ものづくり支援事業	⑯	共生社会実現基盤整備事業